

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	知的情報処理技術応用小委員会	主 査 名：本間俊雄 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】 本小委員会では、複雑・膨大で、あいまいな情報や知識に対して、新しい情報技術体系で扱うソフトコンピューティングやデータ処理等の技術を整理し、情報や知識に対する考え方や最新のシステム技術を有機的に結び付け、建築に関わる応用面の可能性を調査研究する。特に、若手の研究や異分野で注目されている研究を積極的に取り上げ、シンポジウム等を通して会員に情報を提供し、書籍刊行に繋げる。</p> <p>【各年度活動計画】 初年度（2015年度）：上記（設置目的参照）に沿って、小委員会で話題提供・情報交換を進めるとともに、下記項目の作業を行う。 1) 建築分野あるいは異分野で注目されている最新のソフトコンピューティングやデータ処理等の技術を整理する。 2) ベンチマーク問題等を用いて関連技術を評価し、それに基づき、研究集会等の開催(他学会との共催も検討)を検討する。 2年度（2016年度）：委員会で話題提供・情報交換を進めるとともに、下記項目の作業を行う。 初年度と同様に、委員会で話題提供・情報交換を進めると共に下記項目の作業を実施する。 1) 建築分野のソフトコンピューティングやデータ処理等の技術整理 2) 建築分野以外の注目される関連技術の整理 3) 関連技術の調査と評価 4) メンバー内の話題提供や注目される研究者を招聘した研究会の開催 5) セミナー・シンポジウム等による情報発信 2015・2016年度中に、整理された情報から、順次、研究者・技術者に委員を依属する。その際、分野や所属に偏らないようにする。2016年度は特に後期(10月～11月を目標)にセミナーを開催し、上記で得られた成果等を踏まえた学会会員向けに具体的な技術処理の情報を提供するとともに、書籍刊行に向けた検討を始める。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：本間俊雄（鹿児島大学） 幹事：山邊友一郎（神戸大学） 委員：浅香 暁（本田技術研究所）、朝山秀一（東京電機大学）、入江寿弘（日本大学理工学部）、宇谷明秀（京都市大学）、江田敏男（建築ピボット）、大崎 純（京都大学）、新宮清志（日本大学名誉教授）、中澤公伯（日本大学生産工学部）、林田和人（早稲田大学）、三井和男（日本大学生産工学部）、山田悟史（早稲田大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	

講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会メンバー及び外部研究者の話題提供・情報交換により、順調に最新のソフトコンピューティングやデータ処理等の技術が整理でき、かつ、偏った分野構成にならないよう新しいメンバー3名を招聘した。 2. 2016年度秋に開催予定の具体的なセミナーをチュートリアル的な方式にする大枠を決定し、準備を進めている。
委員会活動の問題点 ・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次年度も、引き続き委員の追加を図る。 2. 効果的な情報発信の方法を検討する。
その他	